

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

グループホーム幸の郷

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	目標は職員で話し合い決めている。今年度の項目は①ブログや広報作成に力を入れ、幸の郷の取り組みや様子を発信してゆく②ヒヤリハットを見逃さないように心がける③報連相と記録を行い情報共有する④職員や入居者の所在確認を行い見守り出来る環境づくりを行う⑤毎日ラジオ体操を行い健康増進、体調管理を行う⑥手洗い、消毒を徹底し感染予防に努める			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の間をぬって近隣の幼稚園児と屋外でゲームを行い楽しんだ。地域のお寿司屋さんに出前握り寿司を依頼した。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域の情報や市、包括と情報交換を行い、事業所の運営に活かしている。書面で行った時もあったが、良い意見交換の場となっており、より良いケアの実践に役立っている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議に参加頂いている。困った時には相談し協力を得ている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人作成のマニュアルに基づき、年2回の研修をしている。利用者が外に出ていくときにはスピーチロックせずに付き添っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束が必要な方は現状おられないと思いますが、実施を検討される場合はその都度、緊急性を判断し記録を残してください。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人作成のマニュアルに基づき研修をしている。不適切ケアの防止に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待防止のため措置(委員会の開催、指針の整備、研修の開催、虐待防止に係る担当者の配置)が令和6年4月以降義務化されます。そのことも踏まえ、研修等を通じて理解を深めてください。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	以前は成年後見人、現在は保佐人の制度を利用している方がいる。必要な時に説明できるように研修をしている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時にはご家族に重要事項説明書、医療連携体制、入退所時、お小遣い等の説明を行い、同意の上で契約を結んでいる。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時にご意見、苦情の窓口の説明をしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時など最初の説明は、利用者や家族の信頼を築くにあたり重要であると思います。理解されるまでしっかりと説明をお願いします。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月の会議で、業務に対する意見を聞き、みんなで話し合ったうえで改善を行っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	勤務実績は毎月、本部に報告、チェックを受けている。公休、有給、夜勤回数等取得状況を共有し公平性を保つように努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	業務は多岐に渡っており、職員さんの負担は大きいと思いますが、長く勤務していただけるよう、労働環境の向上に努めてください。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	研修の充実を図る為、法人内の専門職に依頼しより専門性の高い研修の実施に努めておりその効果を実感している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	研修会等に積極的に参加できる環境を整えていただき、個々人のスキルアップ向上に努めてください。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内の管理者は毎月情報交換の機会があり、他事業所の取り組みを事業所内で共有し、運営に活かしている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者それぞれの能力や状態に応じた活動、したい事を見極め、職員と又利用者同士で出来るように支援している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍ではあるが、面会は感染対策の実施を行い窓越し面会やリモートで行っている。			

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の想いの把握に努め職員間や家族とも情報共有している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のケアカンファレンスで、ご本人の状態とケアの在り方を話し合っている。ご本人、ご家族にも希望を聞いてプランを作成している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護方針のすり合わせや情報共有をしていただき、広い視点・客観性を持って適切なケアとなるよう継続した取り組みをお願いします。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子カルテの導入により情報共有がしやすくなり、ケアの見直しや介護計画の見直しに役立っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の生活全般の変化や、サービスが適切に行われていたかを組織が把握するため、個別記録を記入し、情報共有に努めてください。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急な受診対応や、ご家族希望による予防接種等臨機応変に対応している。個々に応じた食事形態の工夫や好みの対応にも積極的に取り組んでいる。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害時や訓練時の避難では地域の防災センターを利用させてもらい地域の方にお世話になった。消防訓練時には消防署員に来て頂き訓練している。			

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医は全員が当法人の母体である岡本病院の医師である。往診や受診を通じて主治医や訪問看護とは信頼関係が築けている。体調変化時は速やかに受診できる体制と関係が確立している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は1週間ごとに病院関係者に状態を聞き把握している。ご家族とも情報共有しGHでの生活が難しい時には、ご家族同意に上で法人内の他施設へ入所や紹介を行い個々に合った居場所に繋げている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の早期退院や退院後の安定した生活に向けた取り組みを今後も継続して対応をお願いします。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に終末期の在り方を説明している。早い段階から関係者と連絡を取り家族と話し合い方向性を決め対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期にたどる経過、それに応じた介護に在り方などについて、利用者やご家族の理解を得られるよう継続的な説明に努めてください。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時マニュアルを作成し研修・訓練等を通じて職員全員が緊急時マニュアルの習得に努めている。訪問看護の看護師や消防署員による人工呼吸法やAEDの講習を受けている。今年は感染症対策でゾーニングについて学んだ。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災マップを掲示し、避難場所、消火栓、AEDの設置場所の確認をしている。年2回消防避難訓練を実施。豪雨時などは消防団が地域の見回りの際、情報提供を受けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の避難訓練を実施いただくとともに、ハザードマップを職員間で共有し、地震や水害など様々な災害に対応できるよう準備をお願いします。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーの保護や接遇研修を行い、一人ひとりの人格を尊重し個々にあった安心できる対応を心掛けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	相談し話し合っ決めていただく姿勢で、利用者や家族に寄り添った対応をお願いします。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調や気分、希望に合わせて入浴日や順番を調整している。散歩や草ひきをしたい時は職員と一緒にしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の好みを把握し、嫌いなメニューの時は代替品を準備している。調理の好きな方とは一緒に準備や盛り付け味見などを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事に楽しみを持っていただく場、またコミュニケーションの場として引き続き配慮をお願いします。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	飲み物の好みを把握し、十分な水分摂取が出来るようにしている。嚥下状態を見極め、安心安全な水分・食事の提供をしている。疾病に配慮し水分補給時のカロリーに注意している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアを行っている。昼食後は重曹水と舌ブラシを使用している。歯科衛生士と連携し個々にあったブラシや糸ようじを使用しアドバイスを受け口腔内の清潔保持に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯周病や虫歯の予防のため、引き続き歯科衛生士と連携した口腔ケアをお願いします。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	尿便意がない方は排泄表を基に時間でトイレ誘導を行っている。トイレに行く事で排泄出来る時もあり、排便も出ることがある。夜間の排泄は本人や職員と相談し状態に応じた方法で行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄のタイミングが分からない方や衛生面でのケアに労力がかかると思いますが、個々の状況に応じた適切なケアを継続してください。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週に2回の入浴だが、希望があれば、入浴日や時間、入浴方法を変更し希望に沿える様になっている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの生活に合わせて休息して頂いている。夜間良く眠れるように、日中は活動的に過ごせる工夫を行っている。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内服薬の変更や追加は、その都度、電子カルテの個人記録と申し送りノートで周知情報の共有を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬と残薬状況、薬の内容変更等に対して、個人記録の共有を確実に行っていただくようお願いします。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のやりたい事、出来る事の把握に努め、その人に合った家事分担やプリント、レクリエーション等を行っている。畑の水やり、野菜の収穫など今までの生活をここでの生活につなげるように支援している。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で思うような外出支援は出来ていない。天気の良い日や希望者があれば散歩に行っている。施設前の駐車場で行事やおやつタイムで外気浴を楽しんでいる。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お小遣いの管理はホームで行っている。希望があれば、職員が購入し、近隣で買える物は一緒に行くように支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今は個人携帯を持っておられる方はいない。頂いた年賀状や暑中見舞いには返事を出す支援をしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	裏庭に畑を作り季節の野菜を植えて水やりや収穫を一緒にしている今年は畑を拡大し去年の倍に広げた。廊下から畑を眺めて成長を楽しみにされている方もある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	農作業を通して体を動かし、自分の居場所作りや生きがいにつながることを期待します。今後も利用者の生活の質向上のため工夫をお願いします。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの想いを把握し充実した生活が送れるように支援している。出来る事をしていただきながら好きな事を見極め、生きがいややりがいに繋がるように支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康に注意した上で散歩が好きな方には散歩に、料理が好きな方には調理の手伝いを、畑での作業は多くの方がされていたので季節の野菜を植えて一緒に畑づくりなどの活動をしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェックを行い、変化時には医療関係者と連携し必要に応じ受診している。日々感染症対策を行い安全な環境で生活して頂いている。	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェック、日々の感染症対策で安全で快適な環境で生活できていると感じました。	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれが個々のペースで生活されている。プリントなどはしたいときに出来るように、色々な種類の物を準備している。ご自分のペースで楽しまれている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していた髭剃り、タンス、写真、鞆などを持って来られており、部屋に置くことで落ち着く空間となっている。	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が安心して暮らせるよう引き続き、本人の愛着のあるものや空間について配慮をお願いします。	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今は施設周辺の散歩くらいしか出来ていないが、散歩に行き、畑や花に水やりや野菜の収穫をしている。今後、コロナが落ち着いて色々な催事が再開されたら積極的に参加してゆきたい。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安全に無理なく出来る事を役割分担している。食事前のテーブル拭き、洗濯干し、洗濯たたみ、タオル干しやタオルたたみ、食器拭き、簡単な調理など役割を通じてやり			

				がいや楽しみに繋がり、生き生きとした生活に繋がっている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年はホールの配置を大きく変えたのを機会に、席や隣の方も変更した。話の合いそうな方を隣同士にすることで会話が弾み穏やかな時間を過ごされている。日常的に塗り絵や計算問題、体操や歩行訓練を楽しまれている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の個性に合わせて、人間関係作りができていると感じました。コロナやインフルエンザが流行していますが、感染対策をしたうえで、活動場面を工夫してください。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍であまり地域や近隣の方と接点は持てていない。近隣の幼稚園とはコロナ禍の合間をぬって屋外でボーリング大会を行った。小学校のボランティアで千羽鶴を折って持参し喜んでいただいている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に職員がいる事で、困った時にすぐに対応できるのは大きな安心感につながっている。職員は親身に相談や困りごとを聴き対応している。季節の行事や食事を楽しめる工夫を行い外出できないストレスの解消に努めている。		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部との交流や外出の機会などが制限されていると思いますが、状況に対応した企画やオンラインの導入、既存の内容のブラッシュアップなど、引き続き利用者が楽しめる工夫に努めください。

(参考様式4)

目標達成計画

事業所名 グループホーム幸の郷

作成日： 令和 5 年 10 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	入居者の状況を身近なものとしてとらえにくく、評価につながりにくい	日ごろの運営推進会議を施設内で実施し、入居者の状況を見て頂き、評価前には取り組みなどを知っていただける機会を持つ	①2か月ごとの運営推進会議を施設内で実施 ②様子を見て頂き理解を深める機会を持つ ③評価前(7月から8月10日まで)に記録物など見て頂きながら説明する機会を持つ	12ヶ月
2	45	新型コロナ感染症の流行により、外出や地域交流が満足に出来なかった	徐々に外出や外食の機会を増やし生活の中に楽しみを見つける	①季節ごとの外出や行事を通じてご家族との交流や地域との交流の機会を持つ②6月の感謝祭、12月のクリスマス会にご家族の参加を募りともに楽しむ機会を持つ	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。